

ご近所のお医者さん

410

桜台クリニック院長

木村晋三さん 岸和田市



持病ない人も検診を

「すでに遅かった」などといったことも時折耳にします。早期発見、早期治療には、やはり定期的な健康診断やがん検診が補助金を出して住民の健康に寄与する取り組みのひとつです。一部費用負担はありますが、基本的なものには無料で受けることができます。サラリーマンの方は会社で健康診断を定期的に行いますが、自営業や専業主婦の方、すでに退職のおける身近な人、つまり近く

状況にあります。特定健診は行政が補助金を出して住民の健康に寄与する取り組みのひとつです。一部費用負担はありますが、基本的なものには無料で受けることができます。サラリーマンの方は会社で健康診断を定期的に行いますが、自営業や専業主婦の方、すでに退職のおける身近な人、つまり近く

意見もあるようです。好ましくなく、結果を知ることができず、対処を配り、かえって長生きできるという意味です。持病のない人は健康診断や検診を「年に一度の習慣」と位置付けることで体に気を配り、かかりつけ医を上手に利用して健康維持につなげていただければと思います。

「一病息災」で長生きの受診が望まれます。大阪府の特定健診受診率は41.5%（2014年度）、胃、肺、大腸がん検診の受診率は約30%で、全国平均から見ても依然低い

「一病息災」で長生き

「一病息災」で長生きの受診が望まれます。大阪府の特定健診受診率は41.5%（2014年度）、胃、肺、大腸がん検診の受診率は約30%で、全国平均から見ても依然低い

世の中には健康診断は受けないほうがよい、意味がないといった「無病息災」ではなく、「一病息災」という言葉があります。病気がなくても健康な人よりも、一つ

出会いみつめる

おおさが



ネパール

カトマンズ近郊のチュニケルで、両親や姉2人と暮らすスバットラさんは小学4年生になりました。体を動かすことと絵を描くことが好きで、得意な科目は算

子どもたちの教育支援は、アジア協会アジア友の会（大阪市西区、06・6444・0587）へ。里親会費は年2万円、子どもたちとは手紙で交流できます。詳細はホームページ（<http://jats.or.jp>）。

見たい

◇ネパール 5歳未満児の死亡率は1000人当たり36人。15歳以上の識字率は60%。貧困などを理由に、小学校に入学した児童の半数近くが中退するとのデータも

募集

★<大阪市>「第24回5時間共生・共ソソ」ボランティア 5月28日（日）C区の花博記念公園鶴見緑地。障害、年齢に楽しむマラソン大会。受付、コース警補助、事前準備（25日、26日）、設営（29日）など。同21日（日）13時に設交通費（上限あり）支給。今月末締め切走マラソン実行委（06・6791・2212）。

★<大阪市>障害のある女性と交流 2時間程度で相談、西成区の依頼者宅。に障害がある、車いす利用の70代女性。流。交通費は実費支給。経験不問。5月大阪ボランティア協会（06・6809・4901）

★<堺市>堺観光ボランティアガイド 10日～7月19日毎水曜午後に入門講座。化を紹介するガイドに必要な知識と心構パソコンやタブレット端末でメールの送人。今月23日（日）と25日（火）14時にサイト（<http://www.nposakai.org/>）で応募。今月20日（木）まで各日先光ボランティア協会（072・233・0531）

イベント

◆<大阪市>「第5回アジア・ユース域を良くするプロジェクトを創ろう」